

POWIS
PARKER

FASTBACK® MODEL 15 BINDER


MODEL 15xsJ USER'S MANUAL



Ⅲ. お使いの手順

1. 電源スイッチを ON にします
ヒートアップ時間は約 5 分です。
ヒートアップが完了すればディスプレイは以下の様に表示されます。
2. ブックランプは通常、NARROW (狭幅 130 枚まで) 開きます
製本物がそれ以上の場合は **OPEN ボタン** を押します。開口部が広がります。
3. 製本物を本体セットする前に、すべてのページが揃っているか確認します
本体または、卓上でページをしっかりと揃えます。しっかりと揃えたら、製本物を本体にセットし、開口部の右側に向けてスライドさせます。
もう一度製本物を軽くたたいて揃え、ページはみ出していないか確認します。
4. 緑色の『**BIND ボタン**』を押します
5. ブックランプが閉じ、適切な製本テープの幅がディスプレイに表示されます

	狭幅テープ
	中間幅テープ
	広幅テープ

6. 適切なテープ幅を選択します
製本テープと製本物の長さが合っているか確認します。
【注意】 製本物のページがきちり揃っていないと、丈夫な製本が出来ませんので **OPEN ボタン** を押して製本物を再度取り出し、ページを揃え直します。
7. 製本テープを入れます
テープのホットメルト部分を上にして、本体右側にあるテープ (スロット) ガイドの上へのせ、軽く押し込みます。
テープが自動的に供給され、製本作業を開始します。
【注意】 製本テープを入れる際、テープの向きには十分注意してください。
万が一、テープのホットメルト部分を下にして挿入した場合、本体内部の加熱プラテンにホットメルトが溶けて、製本できなくなる恐れがあります。
8. 製本完了
ブックランプが自動的に開きますので、製本物を取り出してください。
ディスプレイは以下の様に表示されます。

9. 製本物をクーリングラックで 2～3 分冷却してください
冷却することにより、ホットメルトがしっかりと固まり、美しく丈夫な製本が可能となります。

《知っ得!!》

通常お使いのものと異なるサイズ(長さ)の製本をされる場合、製本物に合わせて製本テープを切ってお使い頂けます。その場合は必ず『**のりしろ**』方向より挿入してください。

Ⅳ. 優れた特長

ファーストバックはさまざまなオプション機能が満載。

EDIT (編集) 機能をはじめ、さまざまな特別機能をうまく使えば、プロ同様の製本がカンタンに仕上がります。

A. **EDIT** 機能

この **EDIT** 機能を使えば、すでに製本されている本のページも差換えが可能です。もし、間違ったページを綴じてしまってもカンタンな方法で解決できます。

1. 本体が

READY

 モードになっていることを確認します。
2. 抜き取るページを確認して下さい。
**ページのコーナーを折っておけばわかりやすいです！
3. このページの後ろに差換えたいページを差し込みます。
**できるだけ奥まで差し込んでください。
4. 本体に製本物をセットして、**EDIT ボタン**を押してください。
これで **EDIT** (編集) サイクルがスタートします。
5. **EDIT** サイクルでホットメルトを溶かしている間、コーナーを折ったページを指でつまんで引きぬく用意をして下さい。ブックランプが開いたら、すばやくページを引きぬきます。その後、すぐに差し込んだページを手のひらでたたいて他のページと揃えます。
6. クーリングラックで2～3分間冷却すれば編集完了です。

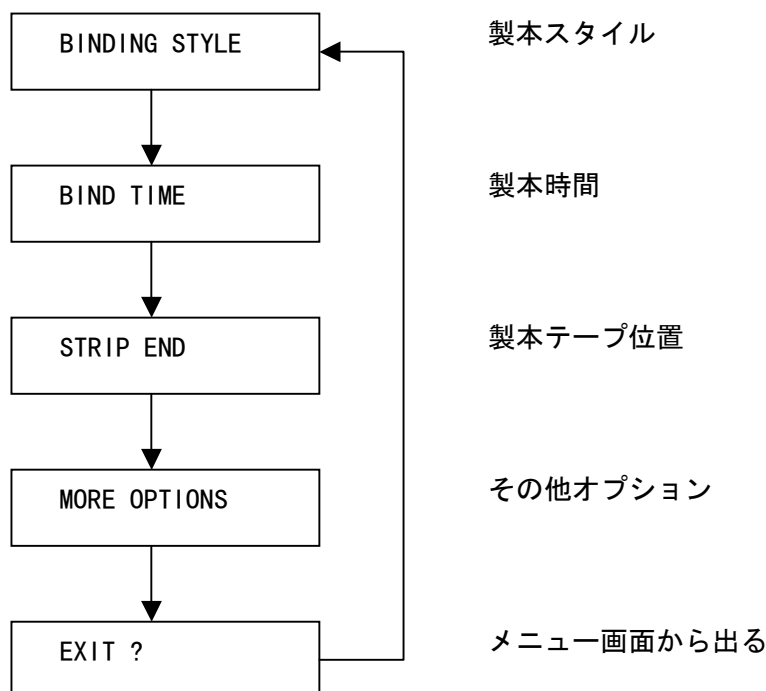
B. 特別機能メニュー

ファーストバック MODEL 15× は、あらゆる製本スタイルに対応するため、特別機能メニューがあります。

この特別機能メニューにより、製本時間の変更、製本テープ位置の調整など特殊製本も可能です。

1. 特別機能メニューに入るには

1. 電源をONにして、**OPEN** ボタンと **EDIT** ボタンを同時に押します。
2. 次に **OPEN** ボタンか、**EDIT** ボタンのどちらかを使ってメニューを選択します。
(**OPEN** ボタンでメニューは後ろに戻り、**EDIT** ボタンで前に進みます。)



3. **BIND** ボタン で、必要なメニューを決定します。

2. 製本スタイルを選択する

ファーストバック MODEL 15× は、[テープ製本]、[パーフェクトバック (くるみ製本)] 及び、[ハーフバック製本] の3種類の製本スタイルの選択が可能です。それぞれの製本スタイルで使用するテープやカバーが異なりますので、この説明書をよくお読みください。

BINDER STRIP テープ製本

標準スタイルです。書類をオモテ表紙とウラ表紙で挟み、専用の製本テープで綴じます。必要なものは製本テープだけです。

HALFBACK ハーフバック製本

このスタイルは、製本テープは必要ありません。
専用の**ハーフバックカバー**に、インクジェットプリンターなどで
オリジナルデザインし、書類を綴じればどなたにでもカンタンにオリジナル製本が可能
になります。

(**詳しい使い方は、27ページをご覧ください。)

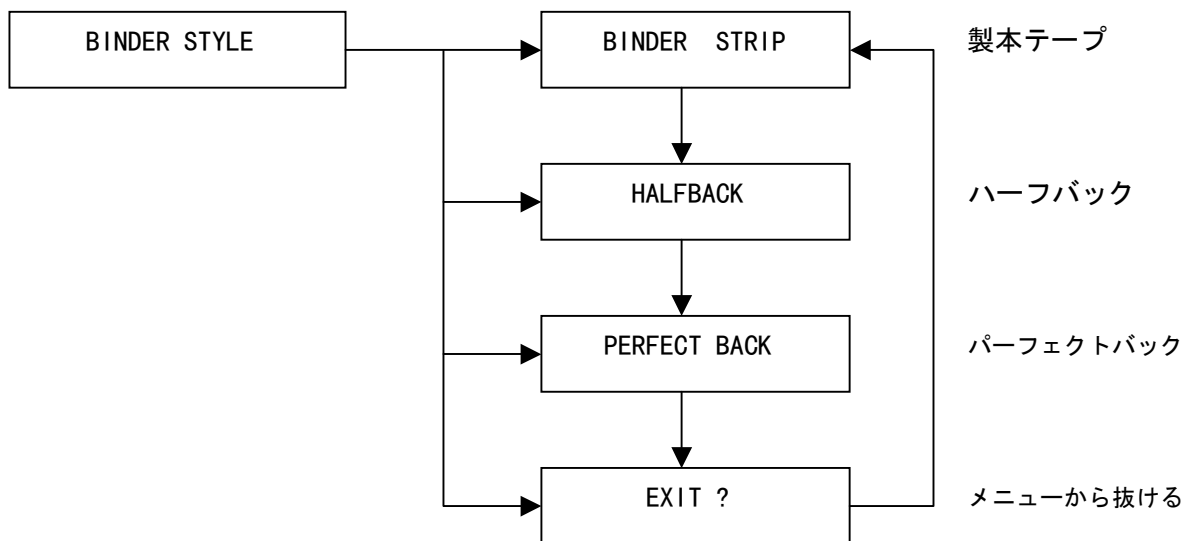
PERFECT BACK くるみ製本

一般的によく見られるくるみ製本です。

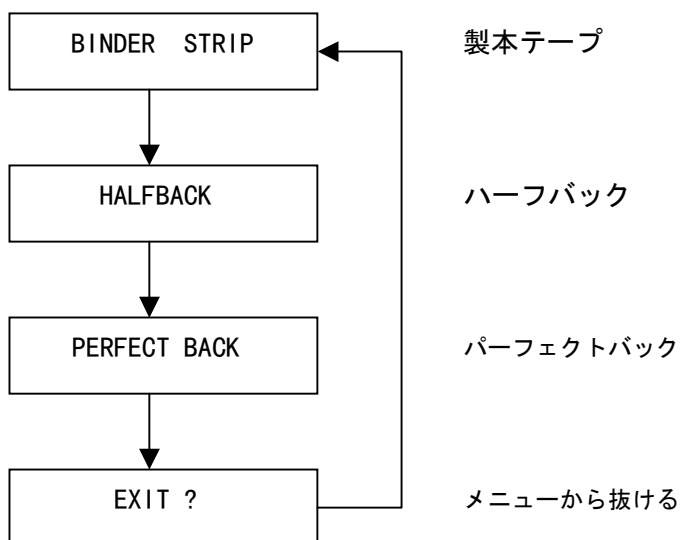
オモテ表紙からウラ表紙まで連続する1枚のカバーで覆われています。このスタイルは
パーフェクトバック専用テープ、印刷した一連の表、ウラ表紙
で、書類をくるみ製本できます。

(**詳しい使い方については27ページをごらんください。)

- Ⓐ 製本スタイルを変更するには特別機能メニューより入り、製本スタイルまでスクロール
します。



- Ⓑ **OPEN** ボタンまたは、**EDIT** ボタンで、4つの製本スタイルを選択できます。



BIND ボタン で決定します。

製本スタイルを変更する時は変更を確認するまで本体のディスプレイには待機モードが表示されます。

MODE SAVE

《知っ得！！》

本体に書類をセットしていない場合でも、ディスプレイ表示を見ればいつでもどのモードかがわかります。

☆ テープ製本モードの場合…

STRIP READY

テープ製本準備

☆ ハーフバックモードの場合…

HALFBACK READY

ハーフバック準備

☆ パーフェクトバックモードの場合…

PERFECT BACK READY

パーフェクトバック準備

本体に書類をセットしている場合

☆ テープ製本モードの場合…

SELECT NARROW

適切な製本テープの幅を表示します。

☆ ハーフバックモード／パーフェクトバックモードの場合…

NARROW 0.01in

テープ幅とその本の厚みを表示します。

3. 製本時間の設定

この機能を使えば全体の製本時間の増減ができます。製本しにくい用紙の場合、最高20秒まで加熱時間が延長でき、また、加熱時間をあまり必要としない用紙の場合は5秒程度製本時間を短縮することができます。

1. 特別機能メニューから製本時間を選択します。

BIND TIME

2. **BIND** ボタンで決定すると下のような表示に変わります。

+00 SECONDS

3. **EDIT** ボタンを1回押すと製本時間を5秒ごと増加します。
また、**OPEN** ボタンで製本時間を5秒ごと短縮します。選択後 **BIND** ボタンで決定します。
4. 製本中、ディスプレイには変更された時間のみ表示されます。

4. 製本テープ位置の設定

工場出荷時のテープの位置は書類の先端にキッチリ揃えられていますが、製本作業を進めていくうちに少しずつ製本テープが書類の先端からはみだしてくることがあります。その場合はこのテープ位置の設定で調整することができます。

1. 特別機能メニューからテープ位置を選択します。

STRIP END

2. **BIND** ボタンで決定すると、以下の表示に変わります。

← | → ? ■

3. 製本テープの先端を0.2mmきざみで調整することができます。

OPEN ボタンで …… 0.2mmきざみで左側へ移動

EDIT ボタンで …… 0.2mmきざみで右側へ移動

→→→

または

←←←

と表示されます。

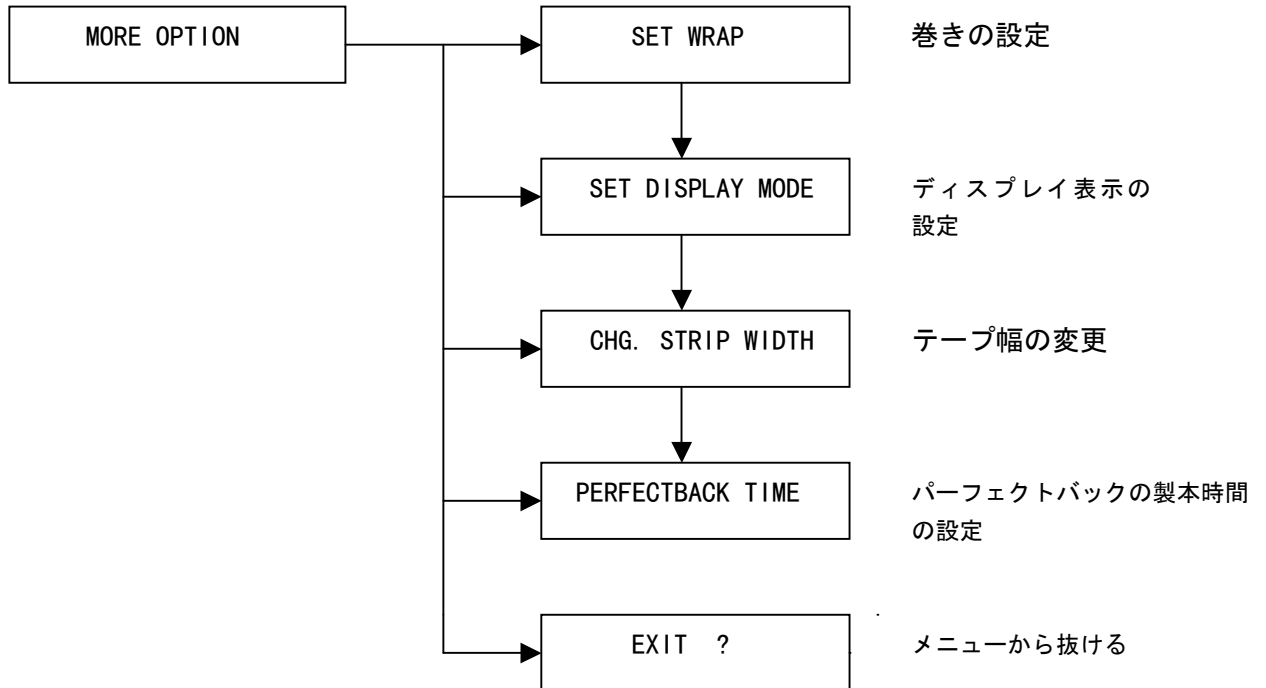
4. 調整が終了すれば、**BIND** ボタンで決定します。

5. その他のオプションを選択す

ファーストバック MODEL 15× はあらゆる書類の製本に対応するため、その他のオプションメニューによりその設定を微妙に変更することができます。

例えば製本テープの巻き位置を変更したり、パーフェクトバックの製本時間編集などもカンタンに行えます。

この『その他のオプション』メニューには、以下の5つのオプションから選べます。



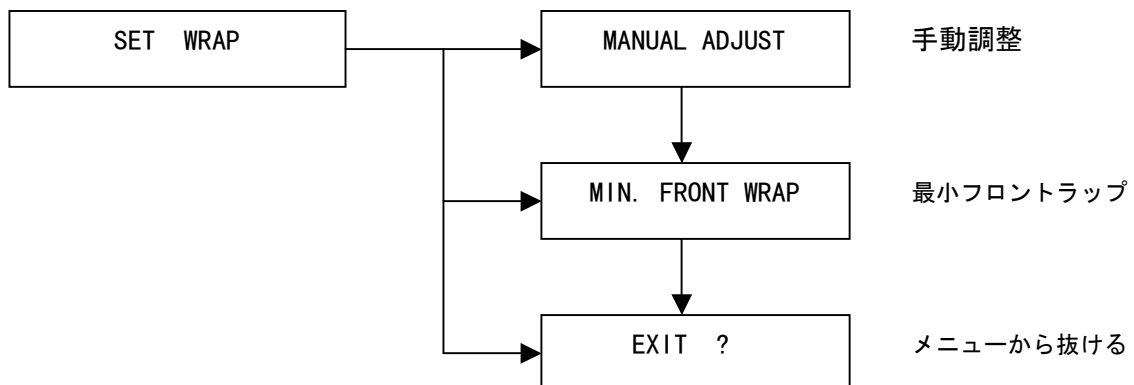
A. 巻きの設定

この機能では、製本テープを本の周りに巻く位置を調整します。

通常、製本テープは背の中央に位置するように調整され、表と裏で等分に巻かれています。

必要に応じて、表と裏のテープの巻き幅を変更することが出来ます。

オプションメニューから **BIND** ボタンで巻きの設定を選択します。ここで3つの選択肢、『手動調整』、『最小フロントラップ』、『メニューから抜ける』に分かれます。



**最小フロントラップはオモテ表紙に最小の製本テープの巻きになります。

㉑ **手動調整** MANUAL ADJUST

製本テープが表、裏、等分に巻かれていない場合、もしくは故意にテープの巻を前後にずらしたい場合、0.25 mmずつ巻を手動調整することができます。

1. **BIND ボタン**を押して、MANUAL ADJUST（手動調整）を選択すると、ディスプレイには次のように表示されます。

FRONT +0.00 in

2. 設定が0.00 なら製本テープがちょうど中心に巻かれているという意味です。**OPEN ボタン**と、**EDIT ボタン**で前後にずらしていきます。

OPEN ボタン …… 製本テープを裏側へ移動させます。

EDIT ボタン …… 製本テープを表側へ移動させます。

どちらの移動も0.25 mmずつの調整が可能で、最高1.8 mmまで巻を調整出来ます。

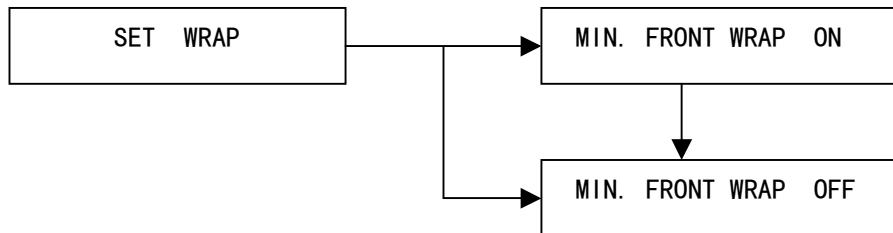
3. テープの巻の設定が完了したら、**BIND ボタン**で決定します。製本中は次のように表示されます。

WRAP ±0.0x

㉒ **最小フロントラップ** MIN. FRONT WRAP

ワンタッチでオモテ表紙上を最小の幅でテープを巻くことが出来ます。

1. SET WRAP（巻の設定）を選択した後、MIN. FRONT WRAPを選択し、**BIND ボタン**で決定します。
2. **OPEN ボタン**もしくは、**EDIT ボタン**を押して最小フロントラップのONとOFFのメニューを表示します。



3. **BIND ボタン**を押してON・OFFのいずれかを決定します。このとき、本体は変更を確認しますので、次に様に表示します。

MODE SAVE

（待機モード）

**すでに最小フロントラップがONになっている場合は、製本前に

MIN. FRONT WRAP

と表示します。

B. ディスプレイの表示

ファーストバック **MODEL 15x** に書類をセットしたとき、次の2つの表示スタイルで本の厚さを表示します。

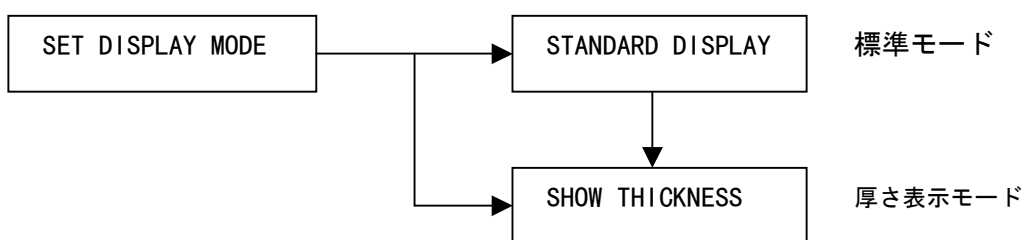
・標準モード

・厚さ表示モード

このディスプレイ表示の設定メニューはどちらかお好みの表示スタイルを選択する事が出来ます。

1. ディスプレイ表示を変更するには、特別機能メニューに入り

(その他のオプション) メニューの (ディスプレイの設定) を選択します。



2. (標準モード) か、 (厚さ表示モード) のどちらかを選び **BIND ボタン** で決定します。
このとき、ディスプレイには設定の変更を確認するまで、次のように表示されます。

(待機モード)

C. 製本テープの幅を変更する

この機能は使えばその製本物が微妙な厚みの場合のみ表示された製本テープの幅以外のテープ幅で製本することが出来ます。

- ① MEDIUM 幅に近い NARROW 幅の製本物
- ② WIDE 幅に近い MEDIUM 幅の製本物

通常①のような場合はディスプレイには と表示されます。

製本物の厚みが限りなく MEDIUM 幅に近い場合、特別機能メニューから

(その他のオプション) を選択し、

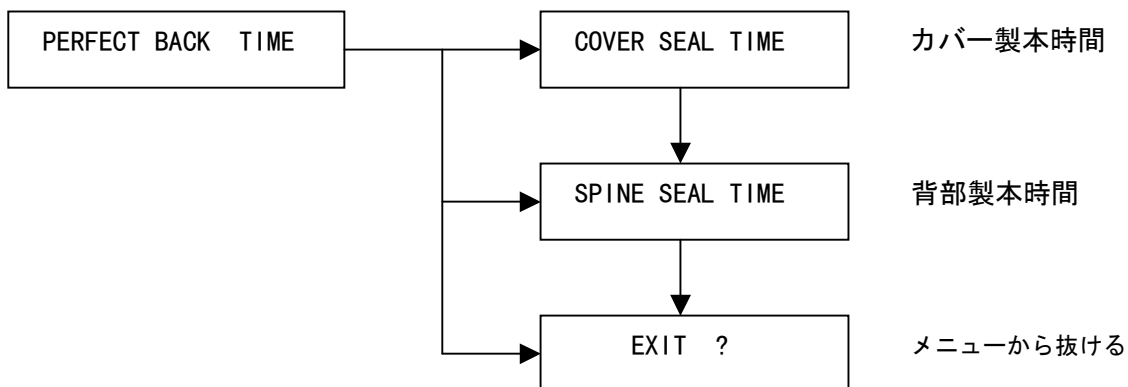
(テープ幅の変更) を選択し、**BIND ボタン** で決定します。

表示が変わりましたら、変更したいテープ幅を **OPEN ボタン** もしくは、**EDIT ボタン** を押して表示し、**BIND ボタン** で決定します。

D. 製本テープの幅を変更する

ファーストバック MODEL 15x でパーフェクトバック（くるみ製本）をする場合、オモテ・ウラ表紙の部分と、背の部分の製本時間を調節することができます。通常より厚い紙を表紙に使う場合は、これらの製本時間を長くする必要があります。

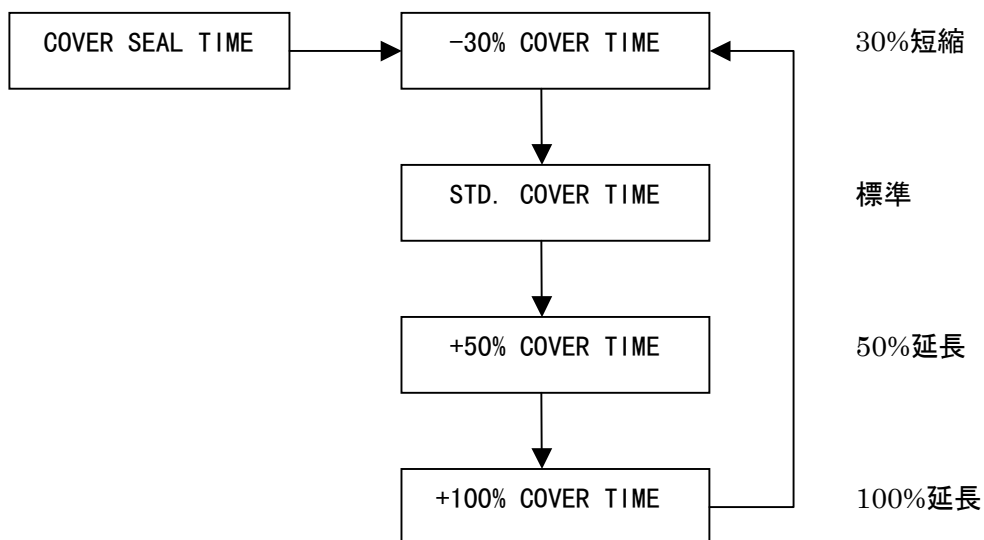
1. **MORE OPTIONS**（その他のオプション）より、**PERFECT BACK TIME**（パーフェクトバックの製本時間の設定）を選択します。



○カバー製本時間

通常より厚い表紙を使ってパーフェクトバック製本をする場合、オモテ・ウラ表紙の製本時間を延長する必要があります。

1. **COVER SEAL TIME**（カバー製本時間）を設定し、次のメニューから選びます。



2. 製本物に合わせて製本時間を変更したら **BIND ボタン** で決定します。このとき、ディスプレイには設定の変更を確認するまで、次のように表示されます。

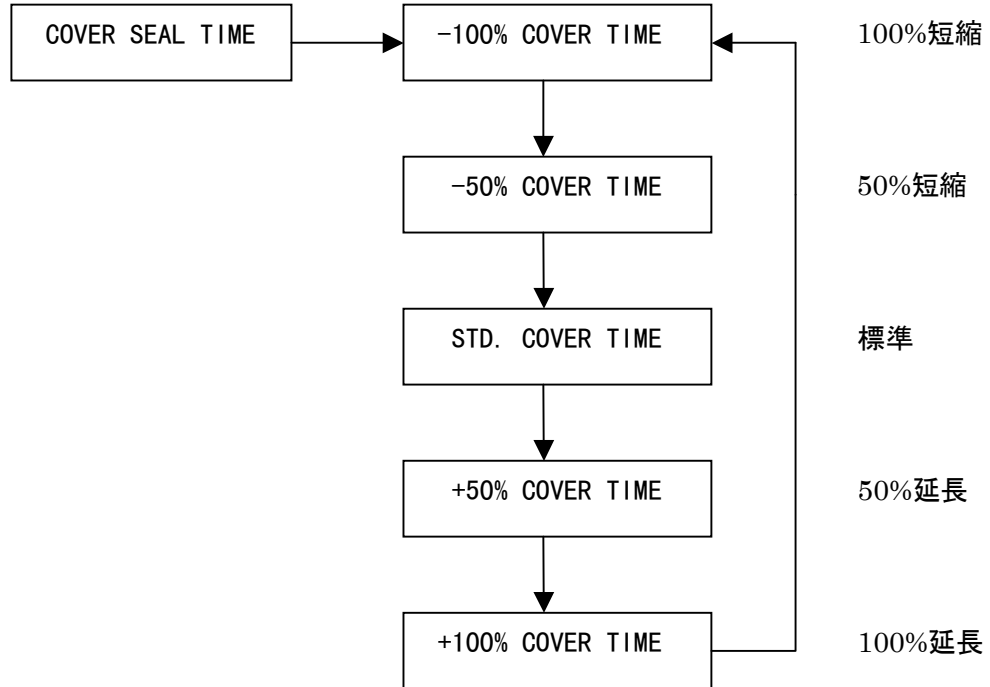
MODE SAVE（待機モード）

○背部製本時間

カバー製本時間を同様に製本する紙の厚みにより背部分の製本時間を変更する必要があります。

設定方法はカバー製本時間と同様です。

1. (背部製本時間) を設定し、次のメニューから選びます。



6. 特別機能メニューから抜ける

特別機能メニューで何も変更を行わない場合は (メニューから抜ける) を選択し、**BIND ボタン**を押せばディスプレイ表示はメインメニューに戻ります。

【注意】 ファーストバック MODEL 15× は電源を切った後もその前に設定された変更を記憶しています。こうした設定を変更する場合は手動によるリセットが必要となります。

V. パーフェクトバック製本とハーフバック製本

A. パーフェクトバック製本をする

市販されている本のようにオモテ表紙、背表紙、ウラ表紙がすべて1枚の紙でできている製本（くるみ製本）も、ファーストバックで製本できます。

パーフェクトバック製本をするには、以下の手順で行ってください。

1. 特別機能メニューから （製本スタイル）を選択し、（パーフェクトバック）を選択します。
2. 製本物を用意します。ただし、表紙は一緒にしないで下さい。
3. 本体の上、もしくは平らな場所で書類を揃えます。
書類（中身のみ）を本体にセットし、右方向へしっかりスライドさせます。
ページが揃っていることを確認し、**BIND ボタン**を押します。
4. ディスプレイに表示された幅のパーフェクトバック専用テープをテープガイドから挿入します。
5. ブックランプが開いたら、製本物を取り出し、クーリングラックで2～3分冷却します。
6. この間にカバー（表紙）を準備します。製本物全体を巻くのに十分な幅、長さがあるか確認します。
**厚さが正確にわからない場合は少し大きめのカバー（表紙）をご用意下さい。
7. カバー（表紙）に折り目を入れます。
これはカバーの折りをつけるため、浅い折り目を付けておきます。
図のように3ヶ所に折り目をいれます。この3ヶ所が本の背を決定し、オモテ表紙を開けやすくします。折り目は次の手順で入れて下さい。
 - ① オモテ表紙の右端から1本目の折りを入れます。
（これは本のオモテ面のサイズに合わせます。）
 - ② 1本目の折り目から左に向かって2本目の折り目を入れます。
（1本目と2本目の間隔は書類の厚みに製本テープ幅を加えた幅になりますので、製本後の幅を計ってから決定して下さい。）
 - ③ 3本目の折り目は1本目の折り目より9.5mm右側に入れます。
 - ④ 折り目にそって、カバーを 型に折ります。
8. クーリングラックより製本物を取り出し、パーフェクトバックのリケイ紙をゆっくりはがします。
**製本部が十分に冷えていないとリケイ紙がはがれにくい場合がありますので、十分冷やして下さい。
9. 製本物をカバーの中にセットし、再度ファーストバックにセットします。
10. 1秒以上 **BIND ボタン**を押し続けると、パーフェクトバックサイクルを開始します。
11. ブックランプが開けば本を取りだし、クーリングラックで冷却します。

B. ハーフバック製本をする


ファーストバック MODEL 15x はオリジナル製本が簡単にできるハーフバックカバーによる製本が可能です。

ハーフバックカバーは非常にユニークで背表紙と専用ハーフバックカバーが1体になっています。

ハーフバックの優れた特徴の一つは、パソコン上でのデザインが可能で、市販のインクジェットプリンターで印刷できることです。

もちろん、パソコン上でのデザインですので、文字、写真を自由に取り込み、あらゆるオリジナルデザインが可能となります。

ハーフバック製本は以下の手順で行って下さい。

1. 特別機能メニューの中の (ハーフバック製本モード) を選択します。
2. 製本物に適した厚みのハーフバックカバーをご用意下さい。
3. グラフィックデザインやページレイアウトを使って、カバーをデザインします。
4. 印刷向きに注意しながら、ハーフバックをインクジェットプリンターにセットします。
**印刷面はホットメルトのついていない面です。
【注意】 ハーフバックカバーの印刷にはレーザープリンターはご使用になれません。
印刷中にカバーのホットメルトが溶けだし、プリンターの故障の原因になります。
5. カバーの印刷ができれば、折り目に沿って  型にゆっくり折り曲げます。
**カバーのホットメルト面が上に(書類側に)来るように直角に折って下さい。
その上に書類をセットし、最後にウラ表紙を重ねます。
6. これで製本の準備ができました。オモテ表紙側をブックフェンスに向け本体にセットします。
【注意】 製本物を本体にセットする際、オモテ表紙がブックフェンス側に、ウラ表紙が必ず手前に来るように十分注意してセットして下さい。
誤った向きでセットすると、製本できません!
7. 製本物を右方向へスライドさせ、**BIND ボタン**を1秒以上押し続けて下さい。
8. ブックランプが開いたら、本を取りだし、クーリングラックで2~3分冷却します。

VI. 故障かな??と思ったら

A. 症状と解決法

B. カバーを開ける

ファーストバック MODEL 15x をメンテナンスしたり、クリーニングする場合、

まず、カバーを開けます。

1. 電源を切ります。
2. 本体右手前の隙間オープンレバーがありますので、人差し指で手前に引きます。
3. カバーがポンと浮き上がりますので、しっかりと固定されるまで手で持ち上げます。

C. 挟まった製本テープを取り除く

ごくまれに製本テープが本体内部に挟まってしまうことがありますが、以下の手順ですぐに取り出せますので、ご安心下さい。

1. 電源を切り、電源プラグを抜いて約20分ほど本体をひやしてください。
2. カバーを開けます。
3. 図のように加熱プラテン手前のブックレスト（冷却プラテン）を起こします。
4. 付属のピンセットを使って製本テープを取り出します。
5. 万が一加熱プラテンにホットメルトが付着していればクリーニングして下さい。（クリーニングのやり方は ページをご覧ください。）
6. ブックレストを元の位置まで、カチリと音がするまで必ず戻し、本体カバーを閉めて下さい。

D. クリーニングについて

ファーストバックは通常お手入れは必要ありませんが、製本テープが挟まったりホットメルトが内部に付着した場合、次の手順でクリーニングして下さい。

1. 本体外部のクリーニング
本体外部が汚れ始めたら湿った布に薄めた中性洗剤で拭き取ってください。

ブックランプの内部にホットメルトが付着している場合はカバーを開け、付属のクリーニング液を布に染み込ませ、拭き取して下さい。
2. 本体内部のクリーニング
 - a. プラテンのクリーニング
製本テープが挟まったり、プラテンに引っかかった場合や、ホットメルトがプラテンに付着した場合は以下の手順でクリーニングして下さい。

- ① 電源をOFFにして本体を完全に冷やします
- ② プラテンが完全に冷えればホットメルトは簡単に取り除けます

万が一、冷却する時間がない場合はやけどに十分注意しながら、付属のメンテナンスマットを着用し、以下の手順でクリーニングして下さい。

- (1) プラテンが十分冷却されていない場合
ブックレスト（冷却プラテン）を手前に起こし、乾いた布でホットメルトを除去します。
【注意】加熱プラテンが高温になっている時はクリーニング液は絶対にご使用にならないで下さい。

- (2) プラテンが十分に冷却されている場合
プラテンが冷めていれば、クリーニング液を湿らせた布でホットメルトを

拭き取ります。指を使ってもホットメルトは簡単にはがれます。

プラテンの下端にホットメルトが付着している場合は、本体左側にある黒い大きなギヤのとなりの小さなギヤを回します。

- ① 左手で小さなギヤを反時計回りに回転させます。
- ② プラテンの端が90°回転したらギヤを止めます。

プラテンが高温の場合は必ずメンテナンスミットを着用し、乾いた布でプラテンを拭きます。きれいになるまで表面を縦方向に拭いて下さい。

【注意】プラテンが高温になっているときはクリーニング液は絶対に使用しないで下さい。

プラテンが十分に冷却されている場合、クリーニング液を染み込ませた布でプラテンを拭いて下さい。指を使ってもホットメルトは簡単に取れます。

3. バックアップバーのクリーニング

バックアップバーは本体カバーの内側に取り付けられています。

万が一、バックアップカバーにホットメルトが付着した場合には以下の手順でクリーニングして下さい。

**バックアップバーはテフロン加工されているので、クリーニングがカンタンです。

【注意】クリーニングは本体を十分冷やしてから行って下さい。

万が一完全に冷えてない状態でクリーニングする場合はメンテナンスミットを着用し、やけど十分注意して行って下さい。

- ① 本体カバーを開けます。
 - ② バックアップバーにホットメルトが付着しているか、確認します。
 - ③ 片側のバーを押し込み上下1本ずつクリーニングします。
 - ④ 乾いた布にクリーニング液を染み込ませ、きれいになるまで拭き取ります。
- 【注意】バックアップバーが冷え切っていない場合クリーニング液は絶対に使用しないで下さい。

E. カバーを閉じる

- ① ブックレストを元の位置に戻します。
カチッと音がするまで押し込んで下さい。
- ② カバーを閉じる前に本体内部にクリーニング用具が残っていないか確認します。
- ③ カバーをゆっくり手前に倒し、カチッと音になるまで閉めて下さい。

F. アフターサービス

この説明書をよく読んで、前のページの「故障かな？」の手順で万が一問題解決できない場合はお買い上げになったファーストバック代理店にお尋ね下さい。

G. オプション品、消耗品のご案内

同梱のアクセサリキット及び各パーツについては、以下の注文ナンバーにて

ファーストバック代理店にご注文下さい。

ファーストバック専用製本テープ及び製本カバーはお取扱店（代理店）からの注文となります。

H. ファーストバック MODEL 15x の仕様

- ・ 寸法
- ・ 重量
- ・ 最大製本サイズ コンピュータフォーム長辺
- ・ 最大製本厚 400枚まで
- ・ 製本時間 17秒～30秒（製本の厚みによります。）
- ・ 消費電力 100v／700w